



令和6年3月5日
ブルーカーゴ株式会社

(第76回) 2月度安全衛生委員会

- | | | |
|--------------------------|--------------|-------------|
| 開催日 | 2024年3月5日(火) | (前回2月5日) |
| 開催場所 | 三重製作所食堂 | |
| 1) 全員唱和 | | (白澤安全担当) |
| 2) 開会の挨拶 | | (副安全衛生管理者) |
| 3) 2月発生事故検証 | | (対象関係推進員) |
| 4) 報告事項 | | |
| ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 | | (副安全衛生管理者) |
| ②安全パトロール報告【リスクアセスメント】 | | (白澤担当) |
| ③各部署別安全取り組み結果及び計画 | | (各推進員) |
| ④ヒヤリ・ハット報告及び内容確認 | | (水谷取締役) |
| ⑤労働災害統計 | | (水谷取締役) |
| ⑥その他(要望、意見、連絡等) | | |
| ・改正労働安全衛生規則(再) | | (副安全衛生管理者) |
| ・安全衛生管理体制の組織図見直し | | (事務局) |
| ・新年度安全衛生管理計画 | | (副安全衛生管理者) |
| (安全管理者・衛生管理者の報告実施) | | (副安全衛生管理者) |
| ・2024年春の全国交通安全運動 | | (副安全衛生管理者) |
| 5) 次回 3月度(第77回)安全衛生委員会開催 | | |
| 4月 日(曜日) | 14時00分～ | |
| 6) 閉会のことば | | (統括安全衛生管理者) |

安全管理の基本理念

- 1)安全は全てに優先する。
- 2)安全なくして生産なし
- 3)生産なくして会社の繁栄なし
- 4)会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 5)安全管理の原点は人間愛と責任感である

安全監督者管理の5大任務

- 1)安全衛生の確保
- 2)品質の維持向上
- 3)生産目標の達成と納期の厳守
- 4)原価低減
- 5)職場の人間関係の向上

平成30年1月6日

”ご安全に、”

安全は すべてに 優先する。

「挨拶・身だしなみ・整理整頓清掃」
衛生的な環境と事故の無い職場を作ろう

1日の始まりは先ず挨拶から始まります。
誰とでも、大きな声を出して挨拶しましょう。
気兼ねなく、挨拶ができる職場にしましょう。

安全衛生委員会議事録ももう一度見てみよう。
非常に重要で役に立つことが沢山書かれています。

ぬか漬けの中の茄子

そのまま放置するのか

たまには手を入れて中身を見てみるのか
資料は生き物です。

(事業場)

三重製作所

熱処理工場

労働災害報告書

〈速報〉 (不 休 災)

総括安全
衛生管理者印
川端

人事総務
管理部長印
川北

安全主務
課長印
吉

事業場長・
工場長印
吉

課長印
吉

作成者

第2熱処理 課

職場

出口 隆俊

印
吉

A

災害状況の把握

1)速報(L-11号) (' 24 年 2 月 15 日)
2)報告(L-11・12号) (' 年 月 日)

①

災害発生日時・場所・作業等の概要

②

被災者の特性

A(年月日) 年 月 日 '24 2 15	B(曜日) 木	C(稼働日) 平日	D(時間:24H表示) 時 分 11 : 08	E(時間帯) 定時内	F(天候) くもり	B 氏名	C(性別) 男	D(年齢) 45 才	E(勤続) 15 年	F(経験) 15 年
G(課・職場) 第2熱処理課 オールケース炉 洗浄前空冷室No.3			H(場所) 社内・場内	I(作業区分) 業務・定常	G 生年 月 日 (西暦) 年 月 日	I(役職) 班長	J(勤務) 交替	K(入社) 途中	M(雇用区分) 正規	
J(起因物) 洗浄前空冷室No.3		K(加害物) 扉		L(被災時の作業) トラブル復旧作業		N(現住所・TEL) TEL()		M(雇用区分) 正規		
N(事故の型) はさまれ・巻き込まれ		O(現認者) 堀係長		M(単独) 作業		P 職 場 経 験		第2熱処理課 生産係 '08 年 '24 年 9 月 ~ 2 月 年 ~ 月 年 ~ 月 年 ~ 月 年 ~ 月 年 ~ 月		

③

傷病の内容・程度・処置

A(部位) 右足第1~第3中足骨			D(処置方法) 外部医療機関			O(安全衛生に係る資格・教育・職務) 入社時安全教育 フォークリフト運転技能講習 クレーン運転特別教育(5t未満) 産業用ロボット安全特別教育 職長教育		I(医療機関・主治医・付き添い者名および所見) ・青木記念病院 ・付添者: 堀係長		
B(性質) 骨折		C(程度) 加療 見込み 30 日間 (障害 級見込)		E(診断書) なし		I(医療機関・主治医・付き添い者名および所見) ・青木記念病院 ・付添者: 堀係長		I(医療機関・主治医・付き添い者名および所見) 年 月 ~ 年 月 年 月 ~ 年 月 年 月 ~ 年 月 年 月 ~ 年 月		
F(休業期間) 月 日 ~ 月 日		G(暦日数) 日		H(診断書) 日		⑤ (速報発信時、安全衛生主務課長指示) ・残圧が残った状態、また自動運転中に足で押し込むと、どのような危険が生じるのか。 ・トラブル時こそ一呼吸おいて危険予知を必ずおこなうこと。 ・フォークが常態化した設備異常がないか今一度洗い出し、復旧・改善をおこなうこと。				

④

災害の発生状況

- ①出来るだけ時系列で記入する。
- ②SWI/Hで出来るだけ簡潔に具体的事実を記入する。
- ③事実であれば被災者の心理状態の記入は可、但し否定的に書かないこと。

① 11時07分洗浄前空冷室No.3にて扉閉異常が発生した。扉がバスケットに引っ掛かり、下降していない状態だった。(写真①)

② 作業者は、バスケットの引っ掛かりを解消する為、バスケットを足で押し込んだ。(写真②)

③ バスケットが奥へ押し込まれた為、扉の引っ掛かりが解消され、勢いよく閉まってきた扉に足が挟まれ被災した(写真③)

※トラブル発生時は自動運転の状態で行っていた。
1 (扉は下降しようと力が加わっている状態)

※扉閉異常は直近で複数回発生していた。(週2~3回の頻度)
2 バスケットはトランスファーのドグで押し込むことで空冷室へ移動させる。(異常発生要因は、ドグの押し込み量が浅かったと推測)

トランスファー (運搬装置)

ドグ (搬送機構)

空冷室

⑥

現場見取図および組織図

写真①異常発生時状態

写真②バスケットを足で押し込む

写真③扉に挟まれた状態


※被災箇所

工場長
課長
係長
被災者

管理・監督者 (課長) 出口 隆俊 (係長) 堀 勇輝 (班長)

総括安全 衛生管理者	管理部長	安全管理者	部門長	課長	作成者
					

HHT 発生連絡

(いつ) 発生日時	2024年1月23日(火)AM9:00頃
(何処で) 発生場所	軸受工場 小型ラジアル製作課 小型ラジアルエリア 西側トイレ内(R33ライン前)
誰が) 被災者	
何をしていた) 業務内容	ライン段取り中、腹痛がありトイレを使用した後
(どうなった) 被災状況	便座より立ち上がり、個室を出ようとした際に意識を失い転倒し右目まぶた切創、右頬打撲。
(災害状況) 発生経緯	<p>1月23日(火)AM9:00頃、被災者はR24ラインにて段取り作業を行っていた。</p> <p>作業中に腹痛を感じた為、トイレに行った。便座に座っている時に若干貧血の症状を感じていた。</p> <p>便座より立ち上がり個室を出ようとした際に意識を失い転倒し、右まぶたをぶつけ切創、右頬をぶつけ打撲した。</p>
	

(安全・環境管理課からの指示事項)

指示事項	安環連第 23-036 号健康管理ニュース めまいふらつきがある場合の対応を全従業員に周知、徹底してください。
------	---

【情報指示経路】課長 ⇒ 係長 ⇒ 班長 ⇒ 課員



めまい・ふらつき があるときの対応について

めまい・ふらつき はどういうときに起こるか？

疾患に起因する

- ・起立性低血圧 ・起立性調節障害 ・貧血
- ・熱中症（脱水） ・自律神経失調症
- ・耳の病気（メニエール病、良性発作性頭位病など）
- ・脳の病気（脳出血、脳梗塞、脳虚血発作など）
- ・心臓の病気（不整脈、心不全など） など

動作に起因する

- ・急に立ち上がる、頭を動かす など

行動に起因する

- ・ダイエット、偏食、睡眠不足、寒暖差 など



めまい・ふらつき がある場合の対応は？

- ・立っている場合は安全を確認したうえで、その場に座ってください。
- ・座っても症状が治まらない場合や、意識が遠くなりそうときは、横になって安静にしてください。可能であれば、人に助けを求めてください。
- ・安静にしているときは、できるだけ音や光などの刺激の少ない、静かな環境で過ごしてください。



※しばらく経っても症状が治まらない場合や、頻繁に症状が出るような場合は、大きな病気が隠れている場合もあるので、病院を受診してください。

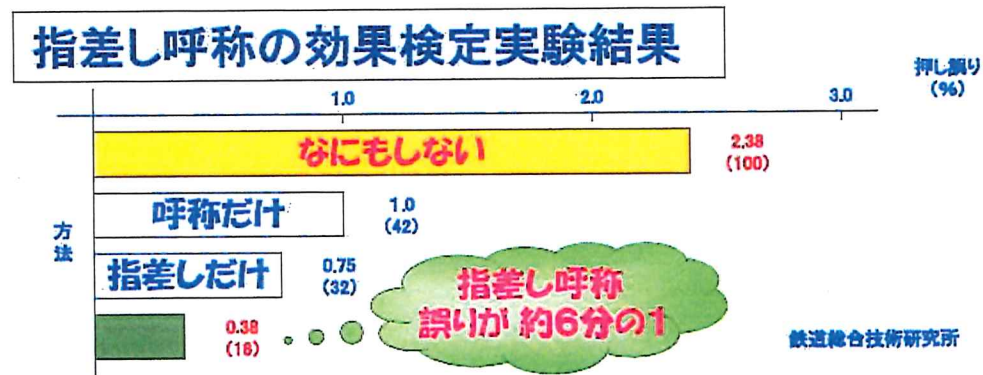
周囲の方は

- ・長時間持ち場にいない、工具・製品等が散乱している、ドアが閉まったまま、中途半端に開いているなど、「おかしいな」「いつもと違うな」と感じたら状況確認！上司へ報告しましょう。

朝から体調不良がみられるような場合は、必ず上司に報告するようにしてください。

大脳生理学でも、以下の事実が明らかにされています。

1. 口回りの咬筋の運動の伝える刺激は、脳を的確に処理できる状態にするのに大きな役割を果たします。
2. 腕の筋肉の中の筋紡錘への刺激は、大脳の働きを活発にします。
3. 視知覚だけでなく、「指差し」による運動知覚、「呼称」による筋肉知覚や聴覚などの諸領域の参加によって、意識に強く印象づけられ、対象認知の正確度は高まります。



(事業場) 上伊那製作所 製造部	<h1>労働災害報告書</h1> (速報) (不不休災)	総括安全衛生管理者印 人事総務管理部長印 安全主務課長印	事業場長・工場長印	課長印
		製造部 第二製作課 テーパ2係	作成者 小山 靖	
A 災害状況の把握		1)速報(L-11号) (24 年 1 月 9 日)		
		2)報告(L-11・12号) (年 月 日)		
① 災害発生日時・場所・作業等の概要		② 被災者の特性		
A(年月日) '24 1 8	B(曜日) 平日	C(稼働日)	D(時間:24H表示) 12 : 5	E(時間帯) 定時内
		F(天候) 晴れ	B 氏名	
		C(性別) 男		D(年齢) 47 才
		E(勤続) 1 年	F(経験) 1 年	
		G(課・職場) 第二製作課 テーパ2係	H(場所) 社内・場内	I(作業区分) 業務・非定常
		J(起因物) EGL270(端面研削機)	K(加害物) 設備背面カバー	L(被災時の作業) 設備保全
		M(事故の型) 激突	O(現認者) 小山 靖	N(現住所・TEL)
		P(安全衛生に係る資格・教育・職務)		Q(雇用区分) 派遣
		R(傷病の内容・程度・処置)		S(職場経験)
A(部位) 左前頭部		D(処置方法) 外部医療機関		
B(性質) 裂創		I(医療機関・主治医・付き添い者名および所見 医療機関:伊那中央病院(緊急外来) 付添者:工藤課長、藤丸保健師 処置内容:被災部位の消毒、軟膏塗布 及びガーゼ貼付にて処置)		
C(程度) 加療 見込み		E(診断書) なし		
F(休業期間) 月 日 ~ 月 日		G(暦日日数) 日		
H(診断書) 日		⑤ (速報発信時、安全衛生主務課長指示) 非常作業時に発生した労働災害です。特に非常作業時は災害発生リスクが高 作業前に危険予知を実施することの指示を徹底して下さい。		
④ 災害の発生状況		⑥ 現場見取図および組織図		
① 出来るだけ時系列で記入する。 ② SWiTHで出来るだけ簡潔に具体的事実を記入する。 ③ 事実であれば被災者の心理状態の記入は可、但し否定的に書かないこと。		① 被災者は、テーパ2係14ラインのEGL270(端面研削機)にて設備保全を行うため、設備背面へ移動した。 ② 設備内のスラッジを除去するために、設備の背面カバー(観音扉式)を左右に開放し、一旦設備から離れた。(図1、図2) ③ 設備側面に置いてあった、スクレーパー(スラッジ除去用)を持って、再度設備背面に近づいた。 ④ 砥石スライドユニット奥側のスラッジを除去しようとし、設備背面にあるクーラントタンクへ足を掛けた。 ⑤ クーラントタンクへ登ろうとした際に、事前に開放した設備背面カバーの角が被災者の左前頭部に激突した。(図3、図4) ⑥ 被災者は、被災箇所に強い痛みを感じたが、暫くして痛みが緩和されたので、そのまま作業を継続していた。 ⑦ 近くに居た作業者が、頭部より流血していた被災者を発見し、上長へ報告した。 ※被災者は、作業帽及びビナーキャップ(頭部保護具)を装着していたが、フレームの隙間から激突した。 ※被災者は、激突後に被災箇所から流血しているとは思わなかった。 ※当該作業に於いて、設備背面カバーを取り外す作業者と取り外さない作業者が混在している状態であった。		
		図1 背面カバー (閉状態) 図2 背面カバー (開状態)		
		図3 被災状況 図4 被災状況 (拡大写真)		
		管理・監督者 氏 名 (課長) 工藤 伸夫	(係長) 小山 靖	(班長) 入江 龍馬

【様式1】

リスクアセスメント

実施日：令和6年2月5日午後1:00～2:00

立会者：新妻部長、伊藤副安全管理者、西村寿洋氏

実施者：衛生管理者 白澤 弘

(設備・作業・状態)	危険・有害状態の洗い出し (表現例)〇〇が△△して□□になる、または〇〇が△△なので□□になる等時点を推測する。	リスクレベルの評価					リスクコントロール			結果検証		
		発生可能性B	近づく頻度C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	改善優先順位	対応策			リスクレベル	検証者	
							何をどのように	担当	期限	再評価	サイン	
はじめに	昨日とうって変わって、大幅に低い気温になりました。暖かい服装で、作業にあたりたいものです。気象庁の発表では、関東甲信越地方に大雪の警報が出されたため、高速道路関係は、今回早めに通行止めを実施されております。本日は災害が発生しましたので、その検証を行いました。あと改善進捗状況を確認。あと安全全般を見ております。											
事故の検証(1/30)	<確認者：秋山凌氏><発生場所：第1熱処理の東側スロープ>内容は、リーチフォークで、2段積のW-1の上に、W-1を載せようと上げた。3段積にしようと思ったが、合番を確認するため下げた。爪を手前まで引かずに下げた事で、積んであるW-1に、爪が引掛かった事故です。製品箱は横転しましたが、幸いに、製品は良品で済んでおります。これも自分の思い込みで起きたのが原因です。人間うっかり、ぼんやりは起きるものです。あくまで安全であるかしっかり確認(指差し呼称)の話をしております。											
安全衛生全般	トラックの輪止め確認を行いました。①か75-84 ②え・・・10 ③う・・・100 計3台 輪止めは実施されておりました。雨の中ご苦労さんです。ご安全に。											
〃	改善進捗状況を確認しております。W-1やK-1のフォーク爪飛び出し対策のその後の推進ですが、適切な爪の差し込み位置を表示する対策で、フォークリフトのメーカーに、対策内容を話して、出された回答は、①フォークの爪に、スリットの切り込みはしないのが良い。万一、その切り込みから、破損する可能性が起きるとご事です。②フォークの爪に、肉盛りのハンダ付は良いとご事です。あくまで肉盛りは、適当な厚みで行う事が必要になります。今後この対策を進めて貰えばと思います。西村さん今後も推進のほどよろしく願います。											
〃	本日は寒く、雨の降る日になりました。床面の滑りや、路面のスリップに注意をお願いする意味で、安全の声掛けをさせて貰いました。世古氏、阿部氏、丹羽氏、眞野氏、伊藤女史、上田氏、大塚課長、徳永氏、関谷氏、伊藤仁志氏、サガール氏、汪女史 計12名											

(参考)危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積もりをします。
尚、リスクの見積もり時に意見が分れた時は、大きい値を採用します。
- ②リスクポイント(合計値)を基に
リスクレベルを評価します。

リスクの見積もり基準				リスクの評価基準	
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度	リスクポイント	リスクレベル	
死亡、永久労働不能 10点	確実である 4点	頻繁(毎日) 4点	16～20	IV	
重傷、障害の残る災害 7点	可能性が高い 3点	時々(1回以上/週) 3点	11～15	III	
休業災害、不休業災害 5点	可能性がある 2点	少ない(1回以上/週) 2点	7～10	II	
軽度の微少災害 2点	少ない 1点	極少ない(1回未満/週) 1点	4～6	I	

【様式1】

リスクアセスメント

実施日：令和6年2月22日午後1:00～2:00

立会者：伊藤副安全管理者、西村寿洋氏

実施者：衛生管理者 白澤 弘

(設備・作業・状態)	危険・有害状態の洗い出し (表現例)〇〇が△△して□□になる、または〇〇が△△なので□□になる等時点を推測する。	リスクレベルの評価					リスクコントロール			結果検証	
		発生可能性B	近づく頻度C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	改善優先順位	対応策			リスクレベル	検証者
							何をどのように	担当	期限	再評価	サイン
はじめに	気象変動の影響で、1日の違いで、気候が6か月も飛ぶ、気候差が起きています。例えば、今日が夏日かと思うと、2日後は真冬の気候になる状況です。体調悪化する、大きな原因になっています。安全作業を行う意味で、心して管理したいものです。本日、日本の平均株価が、34年ぶりに歴史的な更新がありました。日経平均株価が、39,098円で終わっております。今後の景気動向に期待したいものです。本日は、事故災害の報告も無く、喜んでおります。感謝です。安全衛生全般を見ました。										
安全衛生全般	寒い日に、出荷場の自動トビラの開閉不調があり、作業の方は大変な目にあわれています。修理改善要求をして貰っていますので、本日トビラの開閉状況を、時間を取って見させて貰いました。見ている限り、トビラの開閉不具合が無く修理改善が行なわれたかと思えます。良い環境で作業する事が、安全に繋がるものと思えます。ありがとうございました。										
"	トラックの輪止め確認を行いました。①き 27-63 ②き...3 ③4...10 ④か-809 計4台確認しました。尚、その内②き...3のトラックは運転手は乗車しておりました。ご安全に										
"	本日の出荷場は、段ボール箱が通常の倍ほど置かれていました。整然と置かれているのですが、この関係で、フォークリフトや、リーチ関係の車が、非常に運転に気を付けて行わないと、いつ接触事故が起きても、おかしくない状況かと感じました。職場巡視している者も、周囲をしっかりと確認をする事が肝心になります。"あせらず" "あわてず" 先ず確認を第一に願います。尚、段ボール箱の多い原因は、23日(天皇誕生日)24日(土)、25日(日)と3連休になるためです。"ご安全に"										
"	事故災害が無く感謝の気持ちを込めて、安全の声掛けをさせて貰いました。以下の皆さんです。伊藤優羽君、山下氏、阿部氏、丹羽氏、世古氏、福田女史、眞野氏、馬上氏、満仲氏、ザガール氏、徳永氏、蛭川氏、計12名の皆さんです。"ご安全に"										

(参考)危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積もりをします。
尚、リスクの見積もり時に意見が分かれた時は、大きい値を採用します。
- ②リスクポイント(合計値)を基にリスクレベルを評価します。

リスクの見積もり基準				リスクの評価基準	
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度	リスクポイント	リスクレベル	
死亡、永久労働不能 10点	確実である 4点	頻繁(毎日) 4点	16~20	IV	
重傷、障害の残る災害 7点	可能性が高い 3点	時々(1回以上/週) 3点	11~15	III	
休業災害、不休業災害 5点	可能性がある 2点	少ない(1回以上/週) 2点	7~10	II	
軽度の微少災害 2点	少ない 1点	極少ない(1回未満/週) 1点	4~6	I	

各部署の月間安全取組

3月5日 安全衛生委員会

	2月				3月		
	目標 具体的に 記入してください	取り組み (具体的に1つ決めて 行ってください)	結果	安全 会議	目標 具体的に 記入してください	取り組み (具体的に1つ決めて 行ってください)	安全 会議 (予定)
例	作業者の近くにリフトが接近する時は十分注意をする。	声掛け(合図)をし、相手にリフト接近を知ってもらう。	声掛けがしっかり出来事故ゼロ		作業者の近くにリフトが接近する時は十分注意をする。	声掛け(合図)をし、相手にリフト接近を知ってもらう。	
輸送	路面や交通状況にあった運転を心掛ける。	スピードを落としたり、車間距離をとったりする。	事故0でした	2/16	リフト作業時、いろんな事故を想定して作業をする。	いろんな安全策をおこなって事故を想定しながら作業をする。	3/15
リフト	足元、路面に注意し転倒、スリップ事故を防ぐ。	スリップを想定してスピードを落とす。移動前やリフトから降りる時は足元確認。(指差呼称)	一部ヒヤリの報告があったが全員意識して行動出来ていた。掃除機をかけるといった予防処置も行ってもらえた。事故ゼロ。	2/15	リフトの近くを通る際は、接触事故に注意する。	声掛けをし自分の存在に気づいてもらう。運転者は周囲の確認(指差呼称)を行う。	
青山	当日の体調をお互いに確認をする。	朝礼時などでお互い体調などを確認する。	朝礼などでお互いに声掛けをして体調などの確認ができた。	2/5	天井クレーンの安全作業の徹底	東西南北及び上下の安全を確認をして作業を行う。	3/5

ブルーカーゴ(株)安全衛生委員会

ヒヤリ・ハット体験状況 令和 6年 2月度

No	種類	発生日	職場	体験者職種	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	激突ヒヤリ		客先	輸送	トラックから納品するパレットを仮置きする為リフトでバック移動中、トラックとトラックの間から人が急に飛び出してきたヒヤリとした。
2	交通事故ヒヤリ	2月26日	交差点	輸送	トラックで十字路を青信号になったので直進しようとしたら、左から年配車が運転する乗用車が左折してきてヒヤリとした。
3	転倒ヒヤリ	2月19日	NTN三重製作所出荷場	リフト	雨の日パレタイズしている時、天井より雨漏りしていて、床面が濡れて滑って転びそうになり、ヒヤリとした。
4	転倒ヒヤリ	2月22日	NTN三重製作所場内	リフト	工場内を移動中、油の多い場所で足を取られ、転びそうになりヒヤリとした。
5	落下ヒヤリ	2月26日	NTN三重製作所前工程	リフト	W1パレットをリフトで運ぶ為、すくい上げた時W1のロックが不十分だった為、W1の口が開きヒヤリとした。
6	激突ヒヤリ	2月27日	青山	クレーン	パイプ材をスタンションに入れて隅に寄せようとボタンを押したら、ボタンを少し長く押したためパイプがスタンションに衝突しヒヤリとした。
7					
8					
9					
10					
11					
12					

激突ヒヤリ(2件)、転倒ヒヤリ(2件)、落下ヒヤリ(1件)、交通事故(道路)ヒヤリ(1件)

2023 年度(2月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時 間 数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率	
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療		不 休 業 災 害	休 業 災 害	全 災 害	不 休 業 災 害	休 業 災 害	全 災 害		
					1日~ 3日	4日 以上	障害	休災 合計		合計	1日~ 3日	4日~ 以上	合計											障害
					A (人)	B (H)	C(件)	D(件)		E(件)	F(件)	G(日)												H(日)
2 月 度	給油	1	72.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	輸送	16	2,926.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	リフト	24	4,320.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	派遣 NTN三重製作所	7	1,292.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	派遣 ウチダ	2	368.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	一般	9	1,404.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	段ボール	3	288.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	青山	2	368.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	
	計	64	11,038.5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000

※輸送(外部医療機関)1名は、10月度の被災事故による通院継続

薬箱確認 出荷場(2/28)・本社(2/29)・青山(2/28)

感染状況等	2月	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	4	32
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	
合 計	4	48

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日~当月15日
給油		R5.3.16	11	737.5
輸送	R5.12.11	R5.12.12	48	5,694.0
リフト	R6.1.30	R6.1.31	24	2,430.0
段ボール		R5.3.16	27	3,107.5
青山		R5.3.16	24	3,584.0
		合計	134	15,553.0

会社全体	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日~当月15日
無事故時間	R6.1.30	R6.1.31	66	5,052.5
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	610	121,513.5

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが
集計の関係上R5.3.16にしています。

トラックの荷台高 110 cm



床面高さ 1.1m



床面から鋼材上部までの高さ 2.05m



通常作業



イレギュラー作業 (上で引っ掛かった時)

床面から 1.6 2.6m



踏み天板 50x50 cm 床より 1.2m



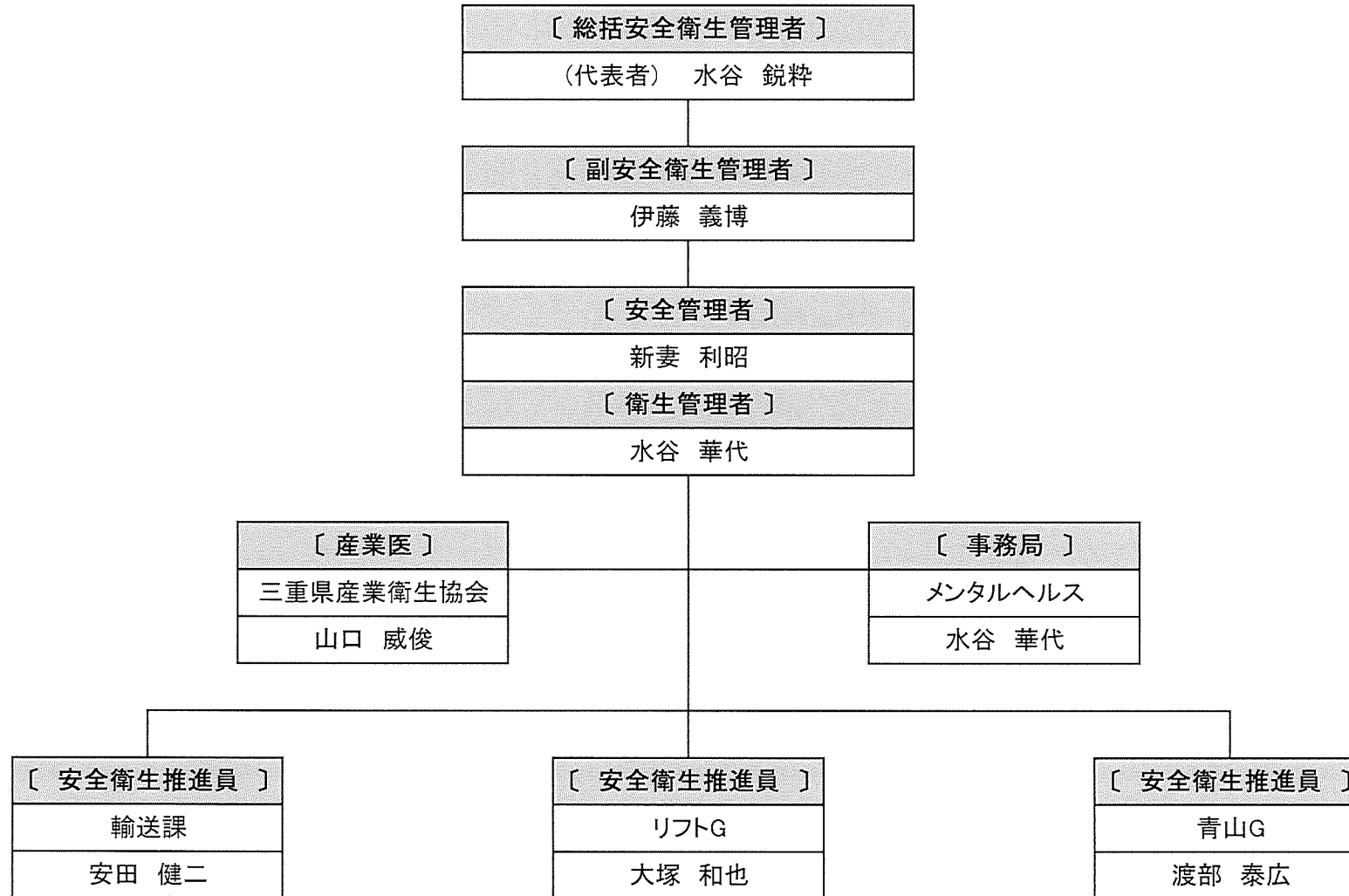
床より 0.5m

手すり高さ 90 cm

・昇降装置 (151条の67) 床面から 1.5m

・高所作業 (518条) 床面から 2.0m

ブルーカーゴ株式会社 安全衛生管理体制組織図



安全衛生年間計画書（令和6年「2024年度」月別計画）

ブルーカーゴ(株)
安全担当

重点事項	取り組み項目・行事	目標〈年間の 実行時期・回 数等〉	スケジュール												実施項目	実施上の留意点		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
安全衛生管理 体制確立	安全衛生委員会の開催	1回/月	→														従来の継続	
	安全衛生パトロールの実施	2回/月	→														職場巡視	リスクアセスメント
安全衛生教育 計画	作業員教育	新入・異動時															異動によるリフト運転開始も含む	実技も適時行う。
	管理者教育																	
	部門別安全会議開催	1回/月	→														定例リフト・輸送安全会議で	時事・季節・情報
安全衛生活動 強化	事故者のリボン着用運動	都 度	→														事故発生者への啓発リボン支給	私は指差呼称します
	安全担当による安全ニュース の発行と周知	1回/月	→														三重製作所・BC安全衛生委員会 含む時事を活用した情報啓発	掲示
	リスクアセスメント等に基づ く改善・啓発の取組	適 時	→														安全パトロールでの指摘事項の対 策及び輸送安全会議でのHH収集	危険度や発生可能性 の高い内容
	ストレスチェックの実施	1回/年							→								管理部によるストレス調査(9月)	事故再発者の確認
定期自主検査 計画	トラックタイヤ・空気圧・ボ ルト緩みチェック	1回/月	→														空気圧測定及びタイヤナット緩み チェック	チェック表記載
	特定自主検査(フォークリフ ト)	1回/月	→														外部整備会社にて実施	
年間行事計画	担当課長による全国安全及び 衛生週間(準備期間) 活動	運動期間					→			→							幟・掲示・朝礼を活用	
	熱中症予防対策の推進	夏 季				→		→									啓発・空調服・塩飴	職場内空調の見直し
	冬季労働災害防止月間	冬 季													→		啓発・ジャンパー支給	
	従業員総会・安全大会	2回/年				→								→			従業員総会時に開催	会社主催
	定期・特殊健康診断の実施	定期4月全員	→							→							夜勤者は10月に特殊検診	管理部が実施
	安全担当者による作業環境測 定の実施	1・5・9月	→						→					→			気温・湿度・照度の測定	結果は安全衛生委員 会席上で報告
	事故予知カードの活用	偶数月	→		→		→		→		→		→		→		安全会議で各自に書いてもらう	事故予測意識
	翌年度の計画作成	1回/月													→		前年の反省と新規取組計画作成	継続懸案事項